区分・種別	重要文化財(石造物)		
名　　称	ほうきょういんとう 宝篋印塔　１基		
所　在　地	今治市宮窪町友浦		
所　有　者	今治市	管 理 団 体	
指定年月日	昭和29年3月20日		
解　　説	薬師堂の境内に建立されているこの塔は、３段の基壇上に立ち総高220cm、基壇を含めると267cmの花崗岩製である。基礎３面に鎌倉様式の格狭間(こうざま)を彫り、背面に刻まれた銘文は次のようである。「嘉暦(かりゃく)元年丙寅七月日 願主養通」（注　嘉暦元年は1326年） また塔身の４面にも胎蔵界四仏(たいぞうかいしぶつ)の種子梵字(ぼんじ)が刻まれている。 基壇から相輪(そうりん)まで完全な形で保存されており、銘文、形式、技法からみて鎌倉時代の特色を表わした石造物である。		